

祝 辞



組織の充実に大きな役割

〔社〕沖縄県建設産業団体連合会

会 長 国 場 幸 一 郎

沖縄県設備設計事務所協会の広報誌「建築設備」が創刊されるにあたり、衷心よりお慶びを申し上げます。

貴協会は昭和58年2月、設備設計監理業務を通して地域社会に貢献することを目的に設立されました。以来、今日まで幾多の困難、曲折を乗り越えながら、県内唯一の建築設備技術集団として、日々進歩する技術の研鑽に努め、高度化・多様化する社会のニーズに対応し、快適で人にやさしい生活環境の確保に努めてこられました。

ところで、近年の我が国経済は厳しい状況が続いており、建設業を取り巻く環境も倒産が相次ぐなど危機的な状況に直面しております。幸い、政府による総合経済対策や建設省の経営改善に関する対策が決定されたところであり、本県においても、特別自由貿易地域制度 (FTZ) の創設を盛り込んだ沖縄振興開発特別措置法の一部改正も成立したことから、今後の施策の推進に期待しているところであります。

ご承知のとおり、公共投資が県経済や雇用に与える影響は誠に大きく、公共事業がこれまで果してきた役割は大いに評価されるべきであります。

私ども建設産業団体連合会としても、地域経済・雇用を支える経済団体の一員であるとの認識を新たにし、関係団体との協調体制を整え、引き続き公共事業の拡大確保に努めていかなければなりません。特に、これからの高齢化社会に備え、良質な社会資本を整備し、産業活動の活性化を図り、郷土の発展に貢献していくことが私共の使命であると考えているところでありますので、今後とも貴協会のご協力をお願い申し上げる次第でございます。

このようなことから、貴協会が会員間の技術交流、情報提供活動はもとより、設備技術の一般への理解と会員相互の連携、組織の充実に大きな役割を果たす広報誌を創刊されますことは、誠に大きな意義があり、その成果に期待を寄せるものであります。

どうか、この度の「建築設備」の創刊を契機に、貴協会が今後益々発展され、建設産業界はもとより沖縄県の発展に大きく貢献されますよう祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会